

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

計画の名称	安全・安心、快適な地域をつくる人のまち（防災・安全）												
計画の期間	令和05年度 ～ 令和09年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	富士見市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	801	A	801	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5	R7	R9
1	ストックマネジメント計画に基づくポンプ場施設改築の実施によりライフサイクルコストを概ね0.3億円/年縮減する。 ストックマネジメント計画に基づくポンプ場施設改築の実施によるライフサイクルコストの縮減効果 ※標準耐用年数ですべてを改築した場合と比較して、ストックマネジメント計画に基づき健全度・緊急度等や目標耐用年数を基本として改築を実施した場合（試算対象年数は概ね100年） 実施済みの縮減効果 / 試算年数全体の縮減効果（試算対象年数全体の縮減効果金額30億円）	0%	3%	5%
2	計画期間内における下水道都市浸水対策達成率を48.0%（R5）から49.8%（R9）に増加させる。 計画期間内における下水道都市浸水対策達成率 浸水対策完了済面積（ha） / 浸水対策目標面積（575ha） ※目標面積：10ha	0%	25%	100%
3	下水道ストックマネジメント計画を更新する。 下水道ストックマネジメント計画更新率 下水道ストックマネジメント計画更新件数（件） / 下水道ストックマネジメント計画更新目標件数 ※更新目標数：2件	0%	50%	100%
4	雨天時浸水対策における対策達成率を0%（R5）から100%（R9）に増加させる。 雨天時浸水対策における対策達成率 雨天時浸水対策における対策済面積（ha） / 雨天時浸水対策における対策目標面積 ※目標面積：7.5ha	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	ポンプ場	改築	別所雨水ポンプ場設備機器等更新工事業	自家発電機設備、ゲート設備、電気設備等の更新	富士見市	■	■	■	■	■	477		—
	ストックマネジメント計画																		
	A07-002	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	管渠（雨水）	新設	新河岸川第五排水区の雨水管整備	約10ha	富士見市		■	■	■	■	160		—
	ストックマネジメント計画																		
	A07-003	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	—	改築	下水道ストックマネジメント計画更新業務	計画更新及び調査等	富士見市		■	■			40		—
ストックマネジメント計画																			
A07-004	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	管渠（污水）	改築	雨天時浸入水対策事業	設計及び工事	富士見市			■	■	■	124		—	
雨天時浸入水対策計画																			
											小計					801			
											合計					801			

事前評価チェックシート

計画の名称： 安全・安心、快適な地域をつくる人のまち（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性	
1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性	
2) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
②目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③事業の効果の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
2) 関連する機関との調整が図られている。	○

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (防災・安全)

計画の名称	安全・安心、快適な地域をつくる人のまち (防災・安全)		
計画の期間	令和5年度 ~ 令和9年度 (5年間)	交付対象	富士見市

